

## 令和4年度ヘルスティカルトレーニング開催要項

### 1. 目的

日本赤十字社の病院 ERU は、これまでの日赤要員の数多くの ICRC 戦傷外科病院や多国籍による災害時のフィールドホスピタルの経験を元に、令和3年度に整備が完了した。このため、これまで以上に災害外傷に対する知識と技術を有する国際救援・開発協力要員の増員が必要であり、特に人員不足が想定される災害現場においては、職種や専門性を越えて必要な医療支援を行うことができる医療職の育成が重要である。

本研修は、災害時の主な外科系疾患とその治療・看護に必要な知識を深めると共に、実際の病院 ERU 資機材を用いながら輸血や検査、レントゲン撮影、その他様々な医療機器の運用に必要な知識と技術について、実技を通して習得することを目的に開催する。

### 2. 研修目標

日赤の病院 ERU 資機材を用いて、実際の現場で求められる以下の知識と技術を習得すること。

- (1) 輸 血：機器類の取り扱いや安全に輸血をするために必要な知識と技術を習得し、臨床検査技師がいない場合でも一連の手技ができる。
- (2) 放 射 線：機器類の取り扱いやレントゲン撮影に必要な知識、技術、安全管理を習得し、診療放射線技師がいない場合でも単純撮影やその補助ができる。
- (3) 医療機器：クリニックにはない、病院 ERU 特有の医療機器の組み立て方、メンテナンス、使用方法に関する知識と技術を習得する。

### 3. 内容（概要）

- (1) 輸血の基本、機器類の取扱い、血液型判定、交差試験
- (2) レントゲン撮影、機器類の取扱い、単純撮影
- (3) 医療機器の組み立て方、使用方法、メンテナンス、動作確認

### 4. 開催日時

令和4年11月18日（金）9:00～19日（土）17:00 ※詳細は別紙プログラム参照

### 5. 開催会場

大阪赤十字看護専門学校、ロジスティクスセンター

### 6. 使用言語

日本語 ※資料は英語を含む

### 7. 対象者

以下の要件をすべて満たす者

(1) 全国の赤十字施設に勤務する医師、看護師、助産師、薬剤師、放射線技師、臨床工学技士、臨床検査技師

(2) 国際救援・開発協力要員に登録されている者

\*原則、参加者は2日間の全日程に参加が望ましいが、職種によっては部分参加も可。

#### 8. 募集人数

最大24名 ※応募者多数の場合は書類選考いたします。

#### 9. 講師／インストラクター

大阪赤十字病院	国際医療救援部長	中出 雅治
大阪赤十字病院	輸血部輸血管理課長	岡 一彦
大阪赤十字病院	輸血部臨床検査技師	村田 優
大阪赤十字病院	輸血部臨床検査技師	山田 枝里佳
大阪赤十字病院	医療技術部臨床工学技術課長	石原 健志
大阪赤十字病院	国際医療救援部国際救援課長	池田 載子
大阪赤十字病院	外来3階看護係長	川瀬 佐知子
大阪赤十字病院	薬剤部兼国際医療救援部薬剤師	仲里 泰太郎
大阪赤十字病院	8A病棟助産師	角山 充子
大阪赤十字病院	救急外来看護師	藤原 真由
大阪赤十字病院	救急外来看護師	服部 智奈津

ほか調整中

#### 10. 研修スケジュール

別紙プログラム参照

#### 11. 事前課題

演習に重点を置いているため、極力座学は行わない予定です。事前課題を行っていることを前提とし研修プログラムを立てていますので、必ず提示された資料を読み、e-learningを視聴するようしてください。資料は事前にメールにて提示します。

#### 12. 申込方法

別紙様式により、令和4年9月23日(金)までに、所属施設の担当者を通して大阪赤十字病院国際医療救援部<imr@osaka-med.jrc.or.jp>あてメールにて送付すること。

#### 13. その他

(1) 参加の可否については10月初旬頃までに所属施設担当者あてに通知します。

(2) 研修期間中の昼食は各自でご持参ください。院内にあるコンビニエンスストアは利用可能ですが、感染対策上、院内への出入りはできる限りお控えください。

- (3) 実技演習がありますので、動きやすい服装でお越しください。
- (4) 宿泊は各自で手配をお願いします。
- (5) 参加にかかる旅費等については、支部・施設所属の方は国際医療救援事業交付金の交付対象となりますので、追って申請・充当すること。なお、同交付金の旅費の取り扱いについては平成26年9月30日付人事第445号「本社招集旅費の取扱いについて」が適用されます。
- (6) 本研修は実際の資機材を用いた実技演習に基づいていることから、病院には立ち入らず看護専門学校を会場とすること、複数会場を設け少人数開催とすることに鑑み、原則対面で実施いたします。ただし、今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては中止または参加受入不可、プログラムの内容変更等の対応をさせていただく可能性があります。何卒ご了承ください。
- (7) 参加者には事前に健康チェック表を提出してもらい、研修中はマスクの着用、手指消毒の徹底などの感染対策、体温測定など体調管理表の記入にご協力をお願いします。

担当: 大阪赤十字病院 国際医療救援部 国際救援課
TEL: 06-6774-5111 (内線 2124)
FAX: 06-6774-5030 (国際医療救援部直通)
E-mail: imr@osaka-med.jrc.or.jp